

[ 成果情報名 ] ニホンジカの食害を受けないコウヨウザン植栽苗のサイズ  
 [ 要約 ] 対馬市内では、植栽時のコウヨウザンの苗木高が 45cm 以上であるとニホンジカによる主軸への食害を受けない。  
 [ キーワード ] ニホンジカ、コウヨウザン、不嗜好性、植栽苗  
 [ 担当 ] 長崎県農林技術開発センター・森林研究部門  
 [ 連絡先 ] ( 代表 ) 0957-26-3330  
 [ 区分 ] 林業  
 [ 分類 ] 行政  
 [ 作成年度 ] 2023 年度

[ 背景・ねらい ]

対馬市では高密度に生息するニホンジカ（以下、シカ）により、森林伐採跡地での伐採後に再生した植生が採食によって退行し、伐採跡地が裸地化する問題が発生している。前年度までの研究ではコウヨウザンは不嗜好性が高く緑化樹種として利用の可能性があるが、食害が完全には避けられなかった。したがって、シカによるコウヨウザン植栽苗の食害に焦点を当て、様々なサイズ（苗木高 17～63 cm）の苗木を対馬市の皆伐地に合計 80 本植栽し、植栽 1 年後の食害について 2 年間にわたり調査する。

[ 成果の内容・特徴 ]

1．苗木高 45cm 未満の植栽苗は主軸への食害を受ける割合が高いが、苗木高 45cm 以上の植栽苗は食害を受けない。（表 1、写真 1、写真 2）。

[ 成果の活用面・留意点 ]

1．対馬市内におけるコウヨウザンの植栽計画時の苗木規格とする。  
 2．コウヨウザンの葉は「鎌形長被針形」で先端は鋭く尖っている。苗木が成長するに従い葉が堅くなる傾向があるが、苗木高が低い場合は、葉がまだ柔らかく食害を受けることが示唆される。

< 試験区の概要 >

1．試験地と植栽・調査年月および調査対象本数は表のとおりである。

表 試験地と植栽・調査年月および調査対象本数

試験地	植栽年月	調査年月	植栽数 (本)	乾燥害 (本)	抜け (本)	不明 (本)	調査対象 (本)	生育頭数 (頭/k㎡)
厳原町安神	2022.4	2023.7	5	1			4	54.7
豊玉町貝口	2022.4	2023.9	10			1	9	75.5
豊玉町鍵川	2021.4	2022.1	5				5	76.6
峰町櫛	2021.4	2022.1	10			1	9	76.6
	2023.3	2023.9	40	2	11	1	26	
上対馬町大增	2022.4	2023.7	5	4			1	57.8
上県町志多留	2022.4	2023.7	5	3			2	63.5
計			80	10	11	3	56	

注) 生育頭数 ( 頭/k㎡ ) はニホンジカ生息状況等調査 ( 対馬市 ) 業務委託報告書 ( 2019年、長崎県農山村対策室 ) による。

注) 植栽から調査時までの期間に枯死した苗木 10本 ( 乾燥害 )、抜け ( イノシシ被害と思われるが一部シカ被害の可能性有 ) 11本、不明 ( 植栽箇所がない ) 3本は除いた 56本の調査結果による。

注) 対馬島内の適正頭数は 3,500頭 ( 2019年、長崎県農山村対策室 )。単位面積当たり 4.9頭/k㎡である。

[ 具体的データ ]

表 1 コウヨウザン植栽時の苗木高と食害の有無

植栽時の苗木高	食害無	食害有
45cm未満 (n=29)	3	26
45cm以上 (n=27)	27	0

<sup>z</sup> <sup>2</sup>検定 P < .01

注) 主軸の食害を受けた苗木を「食害有」とした。

注) スギ・ヒノキコンテナ苗の標準規格 (林野庁通達、平成26年5月1日付) の2号規格 (苗長45cm上) に合わせて分析を行った。



写真 1 食害を受けた植栽苗 (植栽時苗木高 21cm)



写真 2 食害を受けていない植栽苗 (植栽時苗木高 50cm)

[ その他 ]

研究課題名：獣害を考慮した更新技術の実証

予算区分：県単、国庫

研究期間：2019～2023年度

研究担当者：川本啓史郎、溝口哲生、森口直哉